会 議 録

会議名称	平成28年度 第1回 佐倉市子育て支援推進委員会
開催日時	平成28年7月7日(木) 午後2時～午後4時
開催場所	佐倉市健康管理センター 3階大会議室
出席者等	委 員：田中委員、網仲委員、早坂委員、越部委員、松田委員、 田口委員、高野委員、長島委員、平岡委員、天田委員、 川津委員、薄井委員、小林委員、川城委員、星委員、 山本委員、前田委員 事 務 局：蕨 和雄 市長 青木健康こども部長、子育て支援課 織田課長、 向後主幹、鵜澤主幹補、牛玖副主幹、堀越主査、 辻口主査、照井主査、土屋主査補、小高主事、北尾主事
会議議題	(1) 佐倉市子育て支援推進委員会委員長及び副委員長の選出について (2) 佐倉市子育て支援推進委員会について (3) 佐倉市の子育て支援の取り組み状況について (4) 子ども・子育て支援事業計画における基本施策の実施状況報告 について (5) その他
会議経過	別紙、平成28年度 第1回 佐倉市子育て支援推進委員会 会議録のと おり

【1 委嘱状交付】

【2 佐倉市長あいさつ】

【3 佐倉市子育て支援推進委員会委員自己紹介】

【4 佐倉市子育て支援推進委員会事務局自己紹介】

【5 議事】

●議題1 佐倉市子育て支援推進委員会委員長及び副委員長選出について

●議題2 佐倉市子育て支援推進委員会について

●議題3 佐倉市の子育て支援の取り組み状況について

●議題4 子ども・子育て支援事業計画における基本施策の実施状況報告について

●議題5 その他

【議題1 佐倉市子育て支援推進委員会委員長及び副委員長選出について】

(課長)

議題の「(1)佐倉市子育て支援推進委員会委員長及び副委員長選出」でございます。

今回、すべての皆様が新たに委員の委嘱を受けられましたので、現在、委員長、副委員長が不在となっております。

選出につきましては、子育て支援推進委員会条例第5条第1項の規定により、委員の互選により定めることとなっておりますので、委員長、副委員長の選出をお願いいたします。いかがいたしましょうか。

(委員)

私たちは今回初めてでございますので、事務局から何か提案ありますでしょうか？

(課長)

事務局からの提案とのご意見をいただきましたので、事務局の方で、提案させていただいてよろしいでしょうか。

(各委員 異議なし)

(事務局)

それでは、事務局案を提案させていただきます。

委員長は、前期で委員長を務めていただき、また子ども・子育て支援事業計画の策定にも関わっていただいた千葉敬愛短期大学の専任講師でいらっしゃる田中委員に、また、副委員長につきましては、同じく、前期の副委員長を務めていただきました、網仲委員にお願いしたいと考えております。

(課長)

それでは、ただいまの事務局案について、皆様、ご承認いただけますでしょうか。賛成の方は、拍手をもってお願いいたします。

(全員拍手により承認)

それでは、皆様から、ご承認をいただきましたので、田中委員に委員長を、網仲委員に副委員長をお願いいたします。それでは、それぞれ、委員長席、副委員長席にご移動頂きまして、一言ご挨拶をお願いいたします。

(委員長)

委員長就任あいさつ

(副委員長)

副委員長あいさつ

(課長)

それでは、委員長が会議の議長となることになっておりますので、田中委員長、会議の進行をよろしくお願いいたします。

(委員長)

議事を始める前に会議録署名人の選出方法について事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

事務局説明

【議題2 佐倉市子育て支援推進委員会について】

(事務局説明)

資料1を使用して説明。

(委員長)

それでは、ただいまご説明があった「佐倉市子育て支援推進委員会について」の、ご意見・ご質問等はあるか。質問等がある方は挙手をお願いしたい。

(各委員、質疑等なし)

【議題3 佐倉市の子育て支援の取組み状況について】

資料2を使用して説明。

(訂正箇所)

- ・P9ページ グラフの左軸の単位訂正 (正)世帯 (誤)人
- ・P17ページ ③子育て短期支援事業(ショートステイ)の実績について H27年度は実施0か所で H28年度から1か所実施済み

(委員長)

それでは、ただいまご説明のあった「佐倉市の子育て支援の取組み状況について」の、ご意見・ご質問等はあるか。

(委員)

今後の方向性について(P18ページ)、「持続可能な財政運営を堅持するなかで」とあるが、確かに市の財政としては、全体として今後大きく伸ばすことはできないという状況なのだろうが、子育て支援に対する予算の割合というのは変更できるのでないかと思う。市としての優先順位を今と変えないままでいけば全体の予算に対する子育て支援の予算は増えないので、優先順位を検討する必要があるのではないか。今後、高齢世代が増えるので、高齢者福祉にどんどん予算をとられてしまい、子どもにどんどんそのしわ寄せがくることになる。子育て支援は未来への投資なので、それをきちんとしないと将来どうなっていくのか、というふうに思う。子育て支援に対する優先順位をどう持っていくのかを考えなければいけないのではないかと思う。以上。

(委員長)

事務局お願いします。

(事務局)

児童福祉費の決算の推移については、先ほどの資料で説明したとおり、年々増えている。この傾向は変わらないように私たち事務局側としては予算要求をしており、市としても減らすという方向性はまったく考えていない。しかし施策の優先順位をつける際に、他の施策をまったくやらなくてよいということはない。

高齢者福祉に関して言えば、佐倉市は高齢者がどんどん増えている中で、高齢者福祉の予算を減らすというのは難しい。今後も児童福祉に関しては維持・向上させていけるように取り組んでいく予定であるので、そういった面についてはお任せいただきたい。市としても重点施策としているので予算的にも人員的にも充てることは当然のことと考えている。

(課長)

補足させていただく。佐倉市では「魅力のある佐倉市」として、子育て世代はもちろんのこと、様々な世代が住みよい街をつくることを考えている。子育て支援課長として子育て世代への施策にはもちろん注力していくが、市としては全体的なことも考えていかねばならないことも、ぜひご理解いただければと思う。

(委員長)

事務局から説明のあったとおり、この場は子育て支援推進委員会であるので、子育て支援に関する事柄を協議する場であるが、市は都市計画の面でトータル的に考えて、検討しているということである。市への要望などについては、後ほど協議する場があるので、そちらで意見を寄せていただきたい。

委員長の私からの意見として、資料のデータ年度が少し古いものが見受けられた。もう少し新しいデータも見れたらと思う。

【議題4 子ども・子育て支援事業計画における基本施策の実施状況報告について】

資料3、および佐倉市子ども・子育て支援事業計画を使用して説明。主だった事業と平成28年度から新たに始まった事業を中心にピックアップして説明をおこなった。最後に各目標についての意見や指標等の修正案などがあれば、7月30日までにご提出いただくよう依頼。

(委員長)

確認だが、進捗管理シート下部の「推進委員会による評価」欄は各

目標に対してなにか意見があれば記入し、返送するというだけでよいか。

（事務局）

指標の修正案などがあれば記入していただく。また、ご質問等も記入していただいてもかまわない。記入するにあたって、事前のご質問などについては、メールや電話等でご質問いただきたい。提出にあたっては、このシートではなくてもかまわないので、どの目標に対するご意見かわかるようにメールしていただきたい。

（委員長）

ただいまご説明のあった「子ども・子育て支援事業計画における基本施策の実施状況報告について」の、ご意見・ご質問等はあるか。

ただ、委員が変わったばかりで、こういった資料の事前配布がないなかで、今説明を受けてすぐ質問といっても難しいというのがあるかと思う。先ほどの事務局の説明であったとおり、「佐倉市子ども・子育て支援事業計画」第5章に各事業の内容が記載されているので、そちらと進捗管理シートを見比べながら事業への意見を寄せるようお願いする。

あらためて、先ほどの事務局の説明や進捗管理シートの書き方などでご質問等あるか。

（委員）

先ほど事務局から説明のあった事業計画については、佐倉市のホームページに載っているかと思う。実績は載っていないが、少なくとも指標等は載っているので、事前配布が難しいのであれば、指標だけでもホームページのここに載っている、というようなことを案内してくれば、目を通すことは可能だったのではないかと思う。

次に、主要事業52事業中、内容の説明のあった事業を選択した理由を伺いたい。

（事務局）

各基本目標のなかから一つずつ説明させていただいたが、選択の理由は、平成28年度から新たに始まった事業や、内容がわかりづらく、説明を加えたほうがよいと思われる事業に絞ってご説明した。

（委員）

細かい点について個別に聞く時間を設けてもらえるか。

(事務局)

後ほど事務局に直接聞いていただいても構わない。電話では意思の疎通が難しいということであれば、メールで内容を細かに聞いていただいてもかまわない。

(委員長)

それでは、なにかご質問があるかたはそのようにし、また事務局のほうでも同じような質問が多くあった場合には、各委員へのフィードバックをお願いしたい。

(委員)

今回の基本事業進捗管理シートについて、事前配布がないなかで今日初めて目にするわけだが、先ほど委員長からもあったが、最初の段階で果たしてどこまで理解できるかということなかなか難しい部分がある。評価するためには、実態把握がちゃんとできないと評価にはつながらない。この資料だけみてどれだけ実態把握ができるかということ非常に難しいと思う。推進委員会の委員が A~C の評価をつけるわけだが、どれだけ実態を把握した上で評価しているのかが問われる。「質の高い」という言葉が何度もでてくるが、質の高さをどのように評価すればよいのか、本来はフィールドワークなどをして実態を把握した上で評価すべきかと思う。しかし、本日資料を示され、7月30日までに、ということだとそのような時間はない。そしてこの資料への評価をということであれば、ぜひこの資料のデータをメールなどでいただきたい。紙媒体よりそのほうが回答しやすいのではないかと。

(事務局)

資料のデータでの提供は可能である。後ほどメールアドレスをお教えいただければと思う。

ご意見をいただいたとおり、大量の資料に目を通していただくことや、文字数の関係で内容を簡略化して説明しているので、なかなか内容の理解が難しいかと思う。そのなかで、委員のみなさんにしていただきたい評価というのは、A~C の評価をすることではなく、それぞれの事業を実施している内容に対して、例えばもっとこうしたほうがよいのではないかとのご意見や、事業担当課は評価 A をつけているが、本当はもっとこういったところまで踏み込んだ方がよいのではないかと、といった建設的なご意見を評価欄に記入していただくことであるので、よろしくをお願いしたい。ご意見がないという場合、ご提出は不要である。期限についても7月30日までとはいったが、ひとつの目安として申し上げているので、もう少し時間がかかる場合

は相談していただければ対応する。

(委員長)

ABC をつけるのではなく、意見をお寄せいただくということでもよろしくをお願いしたい。

ほかにご意見等あるか。

(委員)

今回は計画や指標の見直しではなく、評価や意見ということだったが、計画や指標の見直しに関しては、今後審議する機会があるのか。それとも今回意見としてだすのか。

(事務局)

指標の見直しについては、今回の評価という形でのご意見をいただき、各課へこういったご意見がでているので見直しができないかという話をし、その結果修正が入るものに関しては、修正して次回の委員会でお示しするという形にさせていただく。

(委員)

今回初めての参加なので、今後の流れも含めてご質問させていただく。例えば高齢者福祉の場合、福祉3プランなどに基づいて事業を進めて行くのだが、子育て支援の場合は、この基になる計画とは子ども・子育て支援事業計画のことか。これを基に今後事業を進めて行くということでもよろしいか。

(事務局)

そのとおりである。この内容に基づいて推進していく。

(委員長)

その他ご質問・ご意見等あるか。

(委員)

ホームページ上の会議録をみると、昨年の推進委員会は2回開催のようだが、その前はもう少し回数が多いように見受けられた。昨年少なかった理由と、今年の予定を委員長に伺いたい。

(委員長)

開催については事務局に回答をお願いしたい。

(事務局)

通常、推進委員会は年3回程度を想定している。昨年は審議する内容が少なかったので2回となった。回数が多かったというのはおそらくその前年の平成26年度かと思うが、これは事業計画を策定するにあたって検討部会を開いたことと、諮問して答申をいただいたことから、推進委員会が3回と部会が6回開催されたので多いと感じられたのではないかと思う。今年度に関しては、年に3回ほどの会議を予定している。

(委員長)

その他、資料3についてのご質問・ご意見あるか。

(委員)

何度も申し上げるが、評価というのはものすごく大事なこと。現状をきちんと把握して、どういうことがどういう形でできているかということ判断する。そして次のステップ、次の事業計画を策定するには、評価をきちっとしている必要があり、きちっとするためには時間がかかり、エネルギーがいる。この推進委員会がそこまで取り組むかどうかということや、行政が委員会にそこまで求めているのか含めて考えなければいけないと思う。とおりのいっぺんの評価になってしまわないか。2年前に事業計画を策定する際に部会を何度も開いたが、今度は評価するための部会も必要なのではないか。そういった場で評価や疑問点について話し合った上で事業計画への評価や意見をだし、その後につなげるということでない、とおりのいっぺんのことになってしまうのではないかと危惧している。委員の皆さんがそれでもよいのかどうかということもあるが、私自身はそのように考えている。

(委員長)

事務局、なにかあるか。

(事務局)

ご心配いただいているのは、評価だけで終わってしまっていて、結局事業に反映されないのではないかとすることに繋がるのかと思う。まずは推進委員会の役割として、こういった事業計画の進捗管理をさせていただくということがひとつと、国で言っている子ども・子育て会議の代わりになっていただくということがある。評価に関しては非常に難しいところではあるかと思うが、子育て支援推進委員会としての評価をしていただき、進めて行くということで事業計画自体が成り立っている。評価を付ける時点での審議がもう少しという話もあった

が、この計画を紙面上のものにしないためにも皆様から建設的なご意見を多数いただき、今後の計画の実効性に繋げていけたらというふうに考えている。

(委員長)

進捗管理シートには市の自己評価が載っているので、それに対し、第三者的な目から気づいたことなどをコメントするということがよろしいかと思うが、委員、よろしいか。

(委員)

行政がよければそれでよい。

【議題5 その他】

(委員長)

その他について事務局よりなにかあるか。

(事務局)

今後の予定について。今年度の推進委員会は年3回を予定している。日程は未定となっているが、おおむね年内にあと1回、年明けに1回を予定しているので、日程が決まり次第、なるべく早い段階で委員の皆様にお知らせしたいと考えているのでお願いしたい。

今後の会議の内容については、先ほど申した通り、事業の進捗管理のほか、新規に整備予定の保育園については利用定員について、子育て推進委員会の意見を聴取することとなっているので、ご協力をお願いする。

(委員長)

ただいまの事務局の説明になにか質問等あるか。

(質問等なし)

(事務局)

長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。これを持ちまして平成28年度第1回子育て支援推進委員会を終了させて頂く。今後2年間宜しくお願いしたい。

閉会

以上